

平成 3 0 年度

岡山大学大学院法務研究科

法学未修者入試 A 日程

小論文問題

- ・ 指示があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- ・ 解答は解答用紙に横書きで記入してください。
- ・ 問題冊子は、この表紙を含めて合計 1 1 枚あります。
- ・ 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください（解答用紙は解答の有無にかかわらず、必ずすべて提出してください）。

問題 以下の「文章」を読んで、下記の3つの設問に解答しなさい。

【設問1】

「社会的手抜き」とは、どのような現象か、50字以内で説明しなさい。

【設問2】

「社会的手抜き」が発生しうる場面について、文章中に掲げられたもの以外の事象を例示して説明しなさい。なお、例示する事象は複数でも構わない。(400字以内)

【設問3】

「社会的手抜き」を防止ないし解消するための方法について想定し、検討しなさい。(600字以内)

【文章】

出典：釘原直樹『人はなぜ集団になると怠けるのか―「社会的手抜き」の心理学』（中公新書・2013年）i 頁以下及び20 頁以下（なお、出題の都合上、文章の一部を省略・加工している。）。

【出題意図】

特定のテーマについて書かれた問題文を読み、その内容を的確に理解できる能力をみるとともに、提示された設問に対する自己の見解を、問題文の筆者の説明に即した形で、論理的かつ説得的に論述できる能力をはかることが、出題の意図である。